

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第31号

平成19年度特別展

宮代の縄文土器

～縄文後期の形と文様～



平成19年度特別展「宮代の縄文土器～縄文後期の形と文様～」が、平成19年10月27日から平成20年1月6日まで開催されています。

宮代町では、約12,000年前から約3,000年前までの縄文時代の遺跡が発見されています。一般的に縄文時代の遺跡は、中期（約4,500年前）が最も遺跡が多くなり、後期（約4,000～3,500前）から減少しますが、宮代町では逆に後期に増加し、山崎遺跡を始めとして住居跡や当時の土器や石器などが多数発掘されています。

こうしたことから、今回は宮代町で最も多い縄文時代後期約4,000～3,500前の遺跡から発掘された土器を展示しています。

展示内容

展示は、土器の型式別に文様や器形の特徴などをもとに、

- Jの字文様の世界 ～称名寺式土器～
- 曲線文様おどる ～堀之内1式土器～
- 三角文様の隆盛 ～堀之内2式土器～

磨り消して文様を描く～加曾利B式土器～の4つのコーナーに分けて展示しています。

町内から発掘された各時期の土器を中心に展示し、称名式土器や堀之内式土器はその名前の由来となった標準遺跡の貴重な土器も展示されています。

次に、具体的に展示の内容を紹介しましょう。



展示風景（Jの字文様の世界～称名寺式土器～）

Jの字文様の世界 ～称名寺式土器～

Jの字文様を主体とする土器で、神奈川県横浜市の称名寺貝塚から出土した土器をもとに名づけられたものです。町内では前原遺跡、金原遺跡などで発掘されています。



前原遺跡出土称名寺式土器

曲線文様おどる ～堀之内1式土器～

曲線文様を主体とする堀之内1式土器は、千葉県市川市にある堀之内貝塚から出土した土器をもとに名づけられたものです。町内では地藏院遺跡等で発掘されています。



地藏院遺跡堀之内1式土器

三角文様の隆盛 ～堀之内2式土器～

三角文様を主体とする堀之内2式土器も千葉県市川市にある堀之内貝塚から出土した土器をもとに名づけられています。町内では、山崎遺

跡等で発掘されています。



山崎遺跡出土堀之内2式土器

磨り消して文様を描く ～加曾利B式土器～

磨り消して文様を描く加曾利B式土器は、千葉県千葉市にある加曾利貝塚から出土した土器をもとに名づけられたものです。町内では山崎山遺跡等で出土しています。



山崎山遺跡出土加曾利B式土器

見
きてね



この他にも、金原遺跡から出土した石器などや子ジカやウリボウ（イノシシの幼獣）も展示されています。また、土器パズルやクイズなどの「体験コーナー」などもあります。ぜひ、ご覧下さい。

夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう！

～平成18・19年度の成果より～

実施にいたる経緯

これまで資料館においては、夏休みの体験講座として「進修学校」という講座を開催してきました。この進修学校は平成8年度から始まり、17年度まで10年間開催され、多くの子どもたちが参加しました。申し込み受け付け20人という枠であり、同一の人が4日間連続で参加する講座として開催してきましたが、ここ数年参加者の減少が目立っていました。これは、一人の参加者が連日來ることが難しかった、ということが大きな理由の一つであったと考えられます。

この検討に先立ち、平成16年度の夏休みに進修学校とは別に「夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう！」という講座を開催しました。これは、夏休み期間中に子ども向けの体験講座を10回開催し、それまでの事前申込制ではなく当日に申込を受け付け、可能な限り人数に制限を設けずに行った講座でした。結果、206人の子ども達が参加、中には一講座に39人も参加があった講座もあり、大変な盛況となりました。この講座に参加してくれた子どもたちや保護者の方にアンケートを行ったところ、参加しやすかった点として「一日単位なので、申込がしやすかった。(連続は難しい)」「参加者数に制限がなかったのがよかった。」「夏休みの宿題で、自由課題の発表の材料として有効だった。」などがあげられました。また、自由回答の中には、開催時間や曜日に関する要望や、学校行事(プールの実施日など)に対する配慮なども記されていました。

上記のことから、平成18年度には、夏休み体験学習講座は連続講座ではなく、1日ないしは2日で1講座とし、10講座を設けた「郷土資料館へ行こう～夏休みとっておき体験～」という新しい講座に生まれ変わりました。

実施の様子

1講座20名で10講座、事前申込制での受付となりましたが、受付初日の夕方には定員に達する講座がでるなど、関心の深さを感じました。参加してくれた子どもたちの居住圏は、資料館が近い百間小学校の通学圏の子どもたちがほとんどになってしまいかと予想していましたが、和戸や須賀、国納などからの参加もあり、また町外からも数名の参加があるなど、広域からの参加を得ることができました。

平成18・19年度とも、項目の中には、男女どちらかに極端に

かたよりがでるかと思いましたが、参加する子ども達は男女ともほぼ同率でした。特に、平成19年度におこなった「絞り染め上級」では、針と糸を使っての絞り染め体験でしたが、男の子も一生懸命に運針を進め、すばらしい作品を作り上げてくれました。

平成18年度から19年度にかけては、16人の子どもたちがリピーターとして講座に参加してくれました。また両年度とも複数の講座に参加した子どもが多く見られました。しかし、早々に定員に達してしまった講座がいくつかあったため、希望した講座に申し込みなかった場合もあったようです。今後の課題として、人気講座については複数回開催するなどの工夫をすれば、もっと多くの子どもたちにリピーターになってもらえそうです。

子どもたちの感想から

低学年から参加できる「縄文ペンダントづくり」では、石材を紙やすりで削る作業が難しい・大変だったという感想がもっとも多かったのですが、作業が大変だっただけに、出来上がった作品の出来栄にとっても満足した様子の感想も多く寄せられました。また、初めて彫刻刀を使ったという子どもが多かった「はんこづくり」では、まだまだ小さな手で一生懸命に彫刻刀を扱っていました。「自分だけの



はんこができたので、大切に使いたいです。」文字にうれしさがあふれているのが感じられました。どの講座においてもそうでしたが、難しさを感じる内容であっても、子ども

たちは実に粘り強く一生懸命にがんばって、すばらしい作品を作り上げました。

まとめとして

今後も、「資料館の講座に参加できて良かった・また参加したい」そう言ってもらえる講座を実施できるよう、資料館一同、努力していきたいと思えます。

道仏北遺跡発掘出土品展

宮代町郷土資料館では、平成20年1月12日から、企画展「道仏北遺跡発掘出土品展」を開催する予定です。



道仏北遺跡は、平成18年12月から平成19年7月にかけて、約8ヶ月に渡り発掘調査が実施されました。調査の結果、縄文時代早期後半（約7,000年前）から縄文時代前期後半（約5,000年前）にかけての「ムラ」の跡であることが判明しました。

調査は約4,000平米を発掘して、そこから住居跡が21軒も検出されました。はらっパーク宮代（金原遺跡）では40,000平米を発掘して27軒の住居跡が発掘されていますので、道仏北遺跡は非常に密度の高い遺跡といえます。

道仏北遺跡の主な時代は縄文時代早期から前期（約7,000～5,000年前）と古墳時代中期（約1,600年前）の2時期です。特に縄文時代早期から前期の時代では、この地域における最も大きな集落であった可能性が高いといえます。

このように、非常に貴重な遺跡が発掘された道仏北遺跡の発掘調査の情報を、地区の皆様や町民の皆様方に公開するため今回の企画展が計画されました。展示品としては、住居跡や出土遺物状況の写真や、土器、石器などです。古墳時代の住居跡から宮代町で初めて発見されたまが玉も初公開いたします。併せて、道仏北遺跡と同じ時代の他の遺跡から発掘された土器なども参考資料として展示いたします。この他、宮代町で発掘された最新出土品についても公開したいと思っています。



斜上 まが玉(古墳時代)

左 第5号住居跡(縄文時代前期)

資料館日誌抄

- 7月14日 企画展「道具と人」(10月21日まで)
- 7月26日 道仏北遺跡発掘調査終了
- 7月5・6日 チャレンジ2days 須賀中学校3名
- 7月25・26日 新山遺跡・金原稻荷神社遺跡試掘調査
- 7月26日 博物館学芸員実習5名(8月10日まで)
- 7月31日～8月28日 夏休みとおき体験「郷土資料館へ行こう」絞り染め・手漉き和紙づくり・ハンコづくり・縄文ペンダントづくり・まが玉づくり・コースターづくり・メンコづくり・組紐づくり(全10回)
- 8月5日 かやぶき民家で昔話を聞く会
- 8月8日 教員5年次研修5名(10日まで)
- 8月19日 「アトラシイ」ゲキ4
- 8月25日 土器づくり教室(土器づくり)
- 9月11・12・14日 百間小学校4年生総合学習古代の宮代
- 10月6日 土器づくり教室(土器焼き)
- 10月16～19日 資料館収蔵庫くん蒸作業
- 10月23日 道仏上遺跡発掘調査(31日まで)
- 10月27日 特別展「宮代の縄文土器」(1月6日まで)
- 10月28日 わら細工教室

資料館寄贈者名簿

- | | |
|-------|--------|
| 磯部好孝氏 | レコード |
| 小島 修氏 | 民具 |
| 斎藤 操氏 | 写真 |
| 斎藤良吉氏 | 民具・古文書 |
| 関根文雄氏 | 民具 |
| 松井俊雄氏 | 民具 |
| 吉岡郁子氏 | 民具 |

宮代町郷土資料館だより えんがわ 31号

発行日 平成19年11月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

H P <http://www.town.miyashiro.saitama.jp>